

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xi.commuja.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.554 2024.7.11
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP 検索

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

6月議会
おわる

紙の健康保険証の廃止を止めよ

関連する一般会計予算、条例改定など3議案に反対

江南市議会6月定例会は、6月28日(金)に閉会しました。日本共産党議員団は提案された15議案と2請願、1意見書案に対し市民の立場で討論を行い、紙の健康保険証の廃止・マイナ保険証への一本化に関連する議案など3

議案に反対し12議案に賛成。1請願の継続審査、1請願1意見書に賛成しました。討論は党議員団HPに掲載しています。市議会YouTube6月28日の部分でも視聴いただけます。



冤罪の早期救済へ、再審法の改正を求める請願、今度は採択

6月議会に愛知県弁護士会から提出された「再審法改正を求める意見書の採択を求める請願」は、最終日、全会一致で採択され、国に意見書が提出されました。

再審手続きに長年月を要し、冤罪被害者の早期救済が妨げられています。その原因である再審法の早期改正を求める内容。昨年12月議会に同じ趣旨の請願が「国民救援会尾北支部」から提出されましたが、党議員団など4議員の賛成だけで、不採択となっていました。

立ち当番なしの資源ごみ収集を求める請願は、継続審査に

6月議会に一市民から提出された「立ち当番なしの資源ごみ収集体制の策定を求める請願」は、建設産業委員会での審議の結果、継続審査に。議会最終日の採決でこの請願をめぐる、継続審査とすべきが9人に対し、不採択とすべきが9人と、可否同数となり、議長裁決の結果、継続審査となりました。

市も少しずつ資源ごみ収集の市民負担軽減に動きだしてはいますが、これでは動きが遅すぎるとの請願者の厳しい指摘に対し、議員から異論が続出しました。今後は、委員会において時間をかけ現状把握や改善方向を議論していくことになりました。

一般質問(その2)

かけのまち子議員

2年前の6月議会一般質問で、女性の視点に立った防災対策の推進を求めました。その後の進捗状況を質し、プライバシーの欠如や性被害、女性トイレの不足などを克服し、女性や子育て家庭に配慮した避難所環境となるよう改めて求めました。

「市防災会議の女性委員の割合を8%から17.8%に増やし、防災安全課にも女性職員を1人配置した。避難所の間仕切りの拡充、マンホールトイレの整備、防犯ブザーの備蓄を検討する」と答弁がありました。



避難所運営に女性の視点を

乳幼児福祉避難所の復活を

2022年度末の愛知江南短大の閉学とともに無くなってしまった、乳幼児福祉避難所(乳幼児と保護者専用の避難所で、防災井戸、粉ミルクなど乳幼児用品の備蓄、短大職員・学生によるサポートもあった)を復活させるよう求めました。

「老人福祉センター跡地に建設する多世代交流プラザ3階が児童館となる予定で、3階を乳幼児避難所として活用できるよう各課と協議し検討する」と答弁がありました。

みわ 陽子議員

安心の介護のために

高齢者の一人暮らしや夫婦だけの世帯の介護の相談体制について尋ねました。

「市内3か所の地域包括センターで心配ごとの相談にのる。よくわからない人は市役所に4月から新設の地域ふくし課又は民生委員に相談を」との答弁でした。内容に応じて専門機関につなぐとのことでした。

特別養護老人ホームへの入居費用は、食費や住居費負担があり、非課税年金を含む収入と預貯金の額に応じた軽減措置が非該当で1割負担の人

が、要介護3でユニット型個室に入居の場合、月15万円ほどの答弁でした。

また軽減措置で減額される負担段階2の人の場合は、実質月5万3千円程度(高額介護サービス費の減額適用後)になる例が出されました。市内にある特養の現在の待機期間は3か月程度との答弁でした。

介護が必要になった時に誰でもお金の心配なく介護が受けられるよう、今後も施設や制度の充実を求めています。

